



KSK あまねだより



(頒価 20 円)

発行 神奈川県障害者定期刊行物協会
222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール 3階
横浜市車椅子の会内
編集 あまね共同作業所
239-0805 横須賀市舟倉 1-12-1
TEL 046-835-0723 FAX 046-833-4062
2019年1月7日 第417号

「なかま」から教わったことを糧に

私があまね共同作業所に入社したのは1996年の4月。それから23年の月日が流れ、今年の3月に退職することになりました。福祉系の専門学校入学後に資源回収のボランティアを通して、あまね共同作業所と出逢いました。卒業後に入社をし、右も左も分からないながら仕事をしていた日々が懐かしく思います。支援費が始まった2003年からは居宅介護支援事業所の担当になり、数年はヘルパー事業所やグループホームの事をしながら、時々法人の業務や作業所(生活介護)のことにする。今思うと業務内容が半端ないですが、それだけ職員の数も整わない中いろいろな経験をさせて頂きました。分からないことに四苦八苦しなから、本当に多くの事を教わり学びました。仲間や職員、ヘルパーや関係者の皆様、地域の皆様にたくさんのことを教わりました。ボランティアを含めると25年間。四半世紀たくさんの出逢いがある今の自分がいる事を改めて思ひながら、あまねだよりの原稿に向かっています。

あまねが大切にしていることは一貫して「なかま」の声や想いを大切にすること。知的に障がいのある方は特に自分自身の意見や想いを言うことが難しく、時には支援者が仲間のことばや表情を読み取り、「ことば」に変えて伝えることもあります。仲間の想いや声を制度や政策に変換することも支援者としての仕事でもありますし、仲間の想いが伝わらないことで、本当に関係者の方々とぶつかることも多々ありました。でも、唯一ぶつからない方法があるとすれば、なかまの想いを共感することでしかないと思います。不思議なことに、仲間の想いを結びつけるのは「なかま」自身でしかないんです。どれだけ仲間のことを理解し、想いを言葉にしていくか? どう仲間と向き合うのか? 仲間の想いをくみ取っていくのか? その先には共感して下さる関係者の仲間、地域の仲間を作っていくことが出来るのか? 今現在も学びながら支援をしています、それが出来ているかどうかはわかりません。

23年前と比べて、障がいのある方への理解は本当に広がってきました。そこには多くの人の呼びかけと、協力があり今があります。あまねが大切にしている仲間は決して、生活介護やヘルパー、グ

ループホームだけの様子だけでは判断できません。ご家庭での様子も人それぞれです。自分自身の考え方が自身とあわなければ「批判」になってしまい、批判の声が大きくなると仲間の想いは消えてしまいます。もちろん、逆もそうで仲間の想いが自分自身の考え方に変換されてしまうと周りから「共感」が消えてしまいます。障がいのある方やご家族は日々「批判」と「共感」の板挟みにあひながら生活しています。その中で声をあげながら様々な政策も進んできました。私が入った23年前に比べれば、障がいのある方を支える制度は本当に増えました。制度を利用することで難しい局面に立たされたことたくさんありますが、そのときこそ、仲間を中心にお互いを批判せず考え方を共有して共感していくことが出来れば仲間の想いはもっと広がると思います。

私の退職後の道はまだ決まってはいませんが、あまねで仲間から教わったことを糧に次のステップへと進みたいと思います。本当に23年間ありがとうございました。(記 角田)



ヘルパー募集

社会福祉法人あまねでは、ヘルパーを募集しています。内容は知的に障がいのある人への外出介護になります。

ヘルパー資格を持っていて、やる気のある人を募集しております。時間等も週1回、1時間から相談に応じます。

詳しいことは・・・046-833-2919 (担当: 角田)

資源回収ご協力ありがとうございます

12月実施分は

17,719kgでした。

(奨励金は70,800円)

次の日程は別紙にて

お知らせします。

問い合わせは9:00以降にお
願いたします。

☆スケジュール(2月)

- 6日 グループ活動
- 8日 資源回収 岩戸・池田
- 9日 資源回収 舟倉・若宮台
- 15日 生活介護職員会議
- 20日 法人職員代表者会議
- 25日 理事会
- 27日 クラブ活動

☆バザーの予定

- 6日(水) ドコモ2ブース
- 7日(木) coop
- 3月2日(土) キックオフフェスタ

【あまねの仲間】

- 出町工務店様 鶴若防災様 正覚寺様
 - 斎藤様 横溝様 狩野様 鳴嶋様
 - 下里様 宮崎様 山田様 (順不同)
- 資源回収の折、バザー用品や寄付などを頂きます。お名前を記せませんが、有効に活用させて頂きます。



作業所の一日 感謝

2019年の節分を迎えました。節分は、冬が終わり春を迎える節目の時と言われています。昨年は古くから“あまね”を支えた職員が相次いで退職し、今年の春は同じく“あまね”を支えた角田職員が退職されます。社会福祉法人となり3年目の春を迎える“あまね”は今、節目の時を迎えていると言えます。行政機関から認可されていない無認可地域作業所だった頃に“あまね”と出会った職員と、制度の中に入り事業所として活動を始めてから、又は社会福祉法人格取得後に“あまね”と出会った職員との間に、隔たりが生じております。互いを理解できない…これはもう避けては通れない道。この道に行く一步を、踏み出せずにいる私ですが、今年も一年あつという間に過ぎてしまうだろうから、おちおちしてもらえない。こんな時は前ではなく、上を向いて。垂直軸に気分を上げて行こうと思います。仲間たちとの何気ない日々をただ楽しんで、気分が上がったら、この道の先に新しくひとつになった“あまね”を思い描こう。では、気分が上がるお話をいくつか…

年が明けて仲間たちと顔を合わせると、決まって“冬休み何やってたの～？”って話になります。ハイッ！と仲間が手を挙げて「伊豆の温泉に行きました」お土産をありがとう。「僕はイオンに行ったよ。買い物した」何買ったの？「ここ（胸）にポケットのついてるシャツ」おー！素敵。「グループホームでお雑煮食べました。美味しかったです」お正月はずっとグループホームにいたのね、よかったよかった。「私は海ほたるに行って、鐘をこうやって（鐘をつくジェスチャー）鳴らしたの」ん？？あーあるある、あの鐘ね。（幸せの鐘というそうです）「私はね、えーとね…紅白みた」あつ、きよし君（氷川さん）？服脱げなくて焦ってたね。「そうそう！」米津玄師さん見た？「みたみた」歌うまかったねえ、笑ってたね。「私はおそば食べた！」年越しそばだあ…等々。続いて職員からは「家族でディズニーシーへ行きました」お土産サンキューです。「子供たち孫たちが来て、ずーっと台所で食事作りました。その後熱が出たあ」ありあ〜、でもハッピー！「動画配信でドラマを観ただけ観てました。お菓子食べながらあ。チョコ楽しかった！」と言って仲間たちから「えーっ?!」って引かれたのは私。昨年から、やりたいことをやる、と決めて過ごした一年。とうとうお正月をこんな風に過ごしても、罪悪感ゼロでいられるようになってしまった（ピース）

年末年始の過ごし方は、それぞれの幸福が感じられて、聞いているだけで幸せな気持ち。

1月23日には、キッチンハウスあまね上村理久さんの成人を祝う会を催しました。スーツ姿で颯爽と現れた上村さん。書道クラブのメンバーが書いた式典看板、皆で作った飾りつけオーナメントやフラワーポット、ささやかではありますが、私たち手作りの会へお招きしました。上村さんクイズ“成人式 ver.”では、「二十歳になって理久さんがしたことは何でしょう？」（答え：中華街で紹興酒を飲んだ）や、子供時代の理久さんのエピソードから、お母さ

んが出題したスペシャル問題で会は盛り上がりました。（これはスペシャルなので内緒(^_^)）「中に何が入ってるかな？シークレットボックスゲーム」では、中に入っているタワシやこんにゃくに、みんなドキドキ。「やりたい！」と手を挙げて前に出てきたはずなのに、どうしてもボックスに手を入れられないというフリーズ状態が…正直過ぎる（笑）

この日がクラブ活動予定日だったということもあり、クラブ活動講師の先生方をお招きし、日頃のご指導への感謝を伝える機会ともさせていただきました。快く参加して下さった先生方、有難うございました。そして、時々照れながらも、終始爽やかな理久さんスマイルを見せてくれた上村さん。これからは私たち、一緒にがんばろうね。

お祝いの言葉で、職員が言った「大人は長いです。ずーっと続きます。だからがんばりましょう。私もがんばります」という言葉に、心がフワッと動きました。私たちは同士。大人という道に行く同士だよ、って言われたようで、みんなと一緒に私も頑張ろうって、あの時素直に思ったのでした。

あまねと出会って27年。色んなことがあったけど、心の奥には感謝しかない。こんな異端な私を、信じてここに置いてくれた。所長にも修さんにも、私を育ててくれた仲間たち、ご家族のみなさんにも、感謝しかない。共に働く全ての職員さんたち、辞めていった全ての職員さんたち、辞めていく角ちゃんにも、感謝しかない。以前の私には、感謝する気持ちがはっきり分からなかった。霧がかかったように掴めなかった。でも今は分かる。人は誰かの寛容さに触れて感謝を思い出す。自分の寛容さを広げて感謝を見つけ出す。私にとってあまねは「寛容さ」。この道の先で新しくひとつになった“あまね”に、私はそれを思い描きます。

そうしたら…理解できなくても受け入れることができることを、そこに隔たりを見つけようとしなければ、隔たりなんて無いことを、思い出したのでした。

最後に角田久さんへ。長い間、本当にお疲れ様でした。貴方があまねからいなくなるなんて、夢にも思わなかった。でも、貴方が決めたことなら応援する。貴方がいなくなった後に、貴方があまねに残してくれたものに気が付くんだろうなあ。これからは親戚のおばちゃんのような感じで付き合っていこうと思っています。だからサヨナラは言わないよ。（記・市川）



手作りクッキー

あまねクッキー ¥220

- バニラ ●ココア ●マーブル ●こま ●チョコ
- 抹茶 ●紅茶 ●シュガーバニラ

あまねクッキーはこちらで販売中！

- 横浜質市役所1階 ともしびショップ「マリ」
- 県立保健福祉大学 ともしびショップ「あいあい」
- くいはな花の国「コスモス館」
- 湘南整体くはな
- あまね作業所
- ワークハウスあまね

ぜひ、お立ち寄りください！

お問い合わせ「ワークハウスあまね」

☎046-837-8194

ふきん販売に

ご協力ください！

布地8枚重ね 3枚組

660円

ご注文は作業所まで

046-835-0723